

ブレストセンター クリニカルパス

～入院中の診療や看護の主な予定をご案内いたします～

様 病名 乳癌（乳房切除術+腋窩郭清 手術当日入院）

平成 年 月 日

主治医 担当看護師

S国際病院（ ）病棟

経過 手術日・退院日など	1日目 入院日	2日目 手術日	3日目 術後1日	4日目 術後2日	5日目 術後3日	6日目 術後4日目以降
治療 薬剤 (点滴・内服)	点滴留置針挿入（手術と反対側の腕）： 病室で行います。	・抗生物質の投与 ・痛みに応じて痛み止めを使用します。 （点滴、坐薬など）	・食事が取れたら、点滴留置針を抜 きます。 ・毎食後、痛み止めを内服します。	必要時、痛み止めを内服します。		
処 置	手術する側の乳房にマジックでマー キングします。	・手術後、酸素投与を行います。時々 深呼吸を行ってください。 ・創部にドレーンが入ります。毎日 排液量を測定します。	・酸素投与を中止します。 ・創部には創の保護の為、透明フィルムか、ダーマボンドで保護されてい ます。フィルムは退院後、外来ではがします。 ・ドレーンは1日50ccを目安に抜きます。ドレーンの抜けた翌日に退院 可能です。			
検 査	□（ ）					
安静度	制限はありません。	手術後は、ベッド上安静。 身体の向きを変えたり起こしたりする ことは可能です。	・制限はありません。 ・初めて歩行される時は、看護師が付き添います。 ・ドレーンが入っている間は、腕や肩の積極的なリハビリはしません。（随時、説明いたします。）			
食 事	入院時より、絶飲食	絶飲食 □を湿らせたり、うがいはでき ます。 麻酔覚醒後6時間で水分摂取できます。	朝食から食事が始まります。制限はありません。			
清 潔	術前に、手術用ガウン、下着に着替え ます。弾性ストッキングを着用します。	当日はガウンのまま過ごしていただき ます。	ドレーンの入っている 場合は、上半身は清拭、 下半身はシャワーが可 能です。	創部は透明フィルムで保護されています。 水を通さないため、ドレーンが抜けた翌日以降は全 身のシャワーが可能です。		
排 泄	入院後より、尿量を計測し、記録し てください。	麻酔がかかってから、尿道カテーテ ルを入れます。	朝、尿道カテーテ ルを抜きます。	排泄回数を記録してください。		
説 明・ オリエンテーション	・病室・病棟・入院生活、手術前後の 流れなどについて看護師より説明し ます。 ・手術、麻酔の同意書をお預かりします。 ・問診、検温、常用薬の確認等行います。	手術終了直後、ご家族に医師から手術 内容について説明します。	・手術後、病理の結果がでるまでには約2週間かかります。 退院後、初回来にて結果をご報告し、今後の治療についてお話しします。 ・手術後のリハビリや生活上の注意点などについて、看護師より適宜説明します。 ・退院後の生活や注意点等についても説明書をお渡しして、説明します。 ・ご希望に応じて、訪問看護師の調整をします。（外来の場合もあります） ご質問、ご不明な点などありましたら、お声かけ下さい。			

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わる可能性があります。

注2 入院期間については現時点の予想です。